



名勝

旧徳島城表御殿庭園

国指定名勝

阿波・淡路両国25万7千石の大名蜂須賀家の居城であった徳島城の表御殿に設けられた庭園。

茶人武将上田宗箇の築庭とされます。枯山水と築山泉水庭から構築された回遊式の庭園で、昭和16年(1941)12月13日に国の名勝に指定されました。

南側に位置した枯山水は大きな石を大胆に使用した庭園で、特に長さ10.5mの青石(緑泥片石)で作られた石橋は圧巻です。また、桃山時代に大名が好んで用いた蘇鉄が17株も現存し、豪壮さが忍ばれます。

北側の築山泉水庭は、江戸時代には東側の堀から水を引き入れていたため、「潮入り庭園」と呼ばれています。

池のほとりにある枯滝と島々の石組みは見応えがあります。

城郭内部に設けられたため1,520坪と、決して規模は大きくありませんが、桃山様式を顕著に示しており貴重です。

【旧徳島城表御殿庭園 観覧料】

区 分	金 額	
	一般(個人)	団体(20人以上)
大人(12才以上)	50円	(1人)25円
小人(6才以上12才未満)	30円	(1人)15円
身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳を持っている方、及び介護者1人、65才以上の人、6才未満の人	無料	

【利用案内】

- 開園時間/9:00~17:00(入園は16:30まで)
- 休園日/毎週月曜日(ただし、祝日と重なった場合は開園)
祝日の翌日(ただし、祝日の翌日が日曜日又は祝日と重なる場合は開園)
年末年始(12月28日~1月4日)

【東駐車場料金】

区 分	時 間	金 額
普通自動車	4月~9月 8:30~21:00	310円
大型自動車	10月~3月 8:30~18:00	1,310円

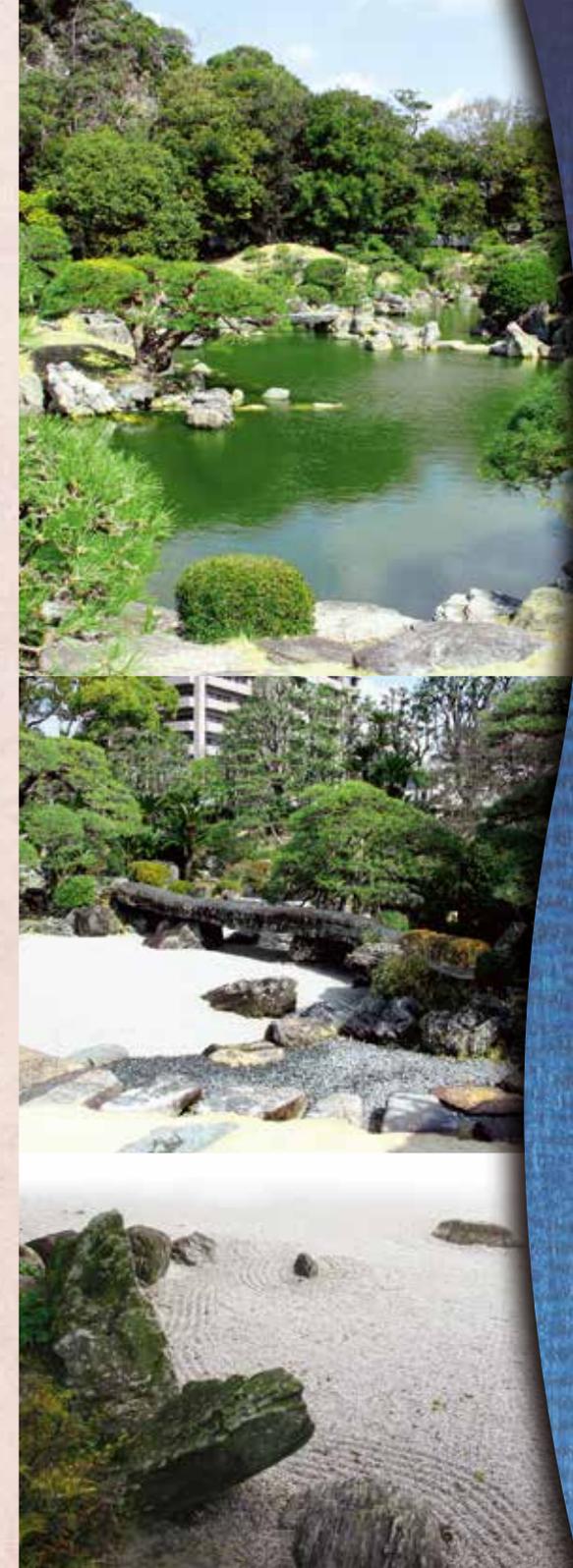
【お問い合わせ先・所在地】

- 庭 園/徳島市公園緑地課 TEL088-621-5295
徳島城博物館 TEL088-656-2525
- 駐車場/東側駐車場 TEL088-655-9037
西側駐車場 TEL088-654-5350
- 徳島県徳島市徳島町城内1番地9

【交通】

- JR徳島駅から徒歩約10分
- 徳島自動車道徳島ICより国道11号線経由約10分

【案内図】



名勝
旧徳島城表御殿庭園

名勝 旧徳島城表御殿庭園



1 枯池に架かる自然石の橋
 初代藩主蜂須賀^{あしひら}賀^か賀^か鎮^{ちん}公^{こう}（義伝公）踏割の伝説のある長さ10.5m、重さ約13トンの自然石橋（緑泥片岩）。義伝の踏割石・地団駄橋といわれている。



2 枯山水庭園の切石橋
 御影石（花崗岩）を加工した豪華な切石橋が架かる。長さ6m。桃山様式の庭園であったため、橋が多用されている。



3 東部築山の陰陽石
 子孫の繁栄を祈る祈願石で、この巨石は、また髑髏にも見立てられ、穴の内側に耳を寄せると、地獄の釜のたぎる音が聞こえるともいわれている。



4 花崗岩のくりぬき井戸
 旧藩時代の井戸で花崗石のくりぬき井戸。下部は緑泥片岩積みとなっている。当時いかにして水を吸い上げたかは不明。



5 観音堂跡
 藩主がくらすた御殿の「鬼門」（東北）にあたるため観音堂を設け、観音を祀ったとされる。



6 御祠堂跡
 儒教方式の藩主墓所「万年山」（徳島市佐古山町）と連動し、安永9年（1780）に設けられた先祖の祠堂があった場所。以前は梅見茶屋があった。



7 心字池
 草書体の心という字形に作られている。水は自然湧出水で大体足りていましたが、地下樋道（現在は不通）により内堀と連結し、潮の干満とともに水位が変わるので藩主は居間に居ながらにして潮の満ちひきがわかりました。



8 御影石をくり抜いた井戸
 飲み水等の確保のため、城内にはいくつもの井戸が掘られた。他国産（阿波国外）の御影石をくり抜いて作った豪華な井筒。